

生協の容器包装3Rの取り組み

生協は、「生協の21世紀理念」として、自立した市民の協同の力で人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現をめざしています。全国の生協には、2,469万人の組合員が参加し、地域コミュニティーの確かな担い手として環境保全活動など、さまざまな社会活動にも積極的に取り組んでいます。

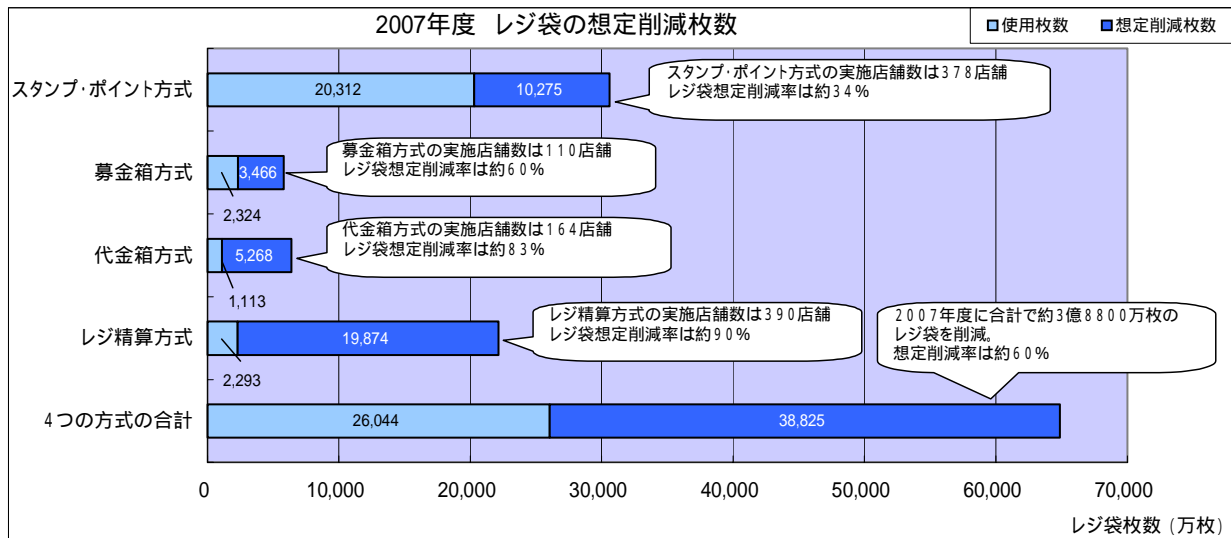
生協は、1970年代から実施してきたマイバッグ持参・レジ袋削減の運動や、1980年代後半から始めた容器包装のリサイクルなど、組合員のみなさんや地域のみなさんと一緒に先駆的に取り組んできました。特にレジ袋削減・有料化の取り組みは、生協が率先して実施したことが地域全体、全国に広がってきました。生協は今後も3Rの取り組みを積極的にすすめ、環境負荷を少なくする循環型社会づくりに貢献します。

1. 生協のマイバッグ持参・レジ袋削減の取り組み

2007年度の全国の生協でのレジ袋の想定削減枚数は約3億8,800万枚にのぼり、想定削減率は約60%となりました。

2008年度、レジ袋有料化によるレジ袋削減の取り組みはさらにすすみ、レジ袋有料化実施店舗は679店舗、そのうちレジ精算方式を実施する店舗は525店舗（2008年12月現在）に拡大し、レジ袋想定削減枚率も約70%に向上しています。

また、レジ袋有料化にあたっては、自治体、市民団体との地域協定に積極的に参加し、地域との共同のなかで率先してレジ袋削減をすすめています。



レジ袋有料化の事例



レジ精算方式



レジ精算方式



代金箱方式

2. 生協の3Rの取り組み

生協では、リデュース、リユース、リサイクルの3Rに取り組んでいます。

リデュース：ごみになるものを減らそう

生協では、マイバッグ持参・レジ袋有料化の推進によるレジ袋削減に加えて、簡易包装や再生原料を使用した商品、詰め替え商品の開発と普及をすすめています。また、商品のバラ売りや計り売りの推進、食品トレイの軽量化に取り組んでいます。

<詰め替え商品>
液体パワーセフタ（洗濯用洗剤）詰め替え用

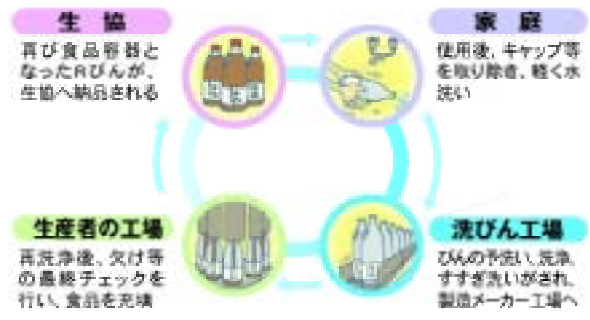


詰め替え商品を使用することで資源を節約でき、ごみの減量につながります。

リユース：繰り返し使おう

生協のなかでは、リターナブルびんを使用している生協があります。また、全国の生協の共同購入・個人宅配で使われている商品を入れるコンテナや保冷箱も繰り返し使うリユース容器です。

<リターナブルびん商品>
とまととまと（トマトソース）



リサイクル：再資源化しよう

組合員の自主的な取り組みから始まった生協のリサイクル活動はごみの削減、資源の有効活用を目的に、全国の生協での取り組まれています。



生協では、リサイクルによって回収された資源を利用した商品（再生原料使用商品）の開発と普及を積極的にすすめています。

コアノンロールシングル

牛乳パックや古紙などの再生紙を100%使用し、再生工程で漂白も行わず作りました。



キッチンマイルド

（食器用洗剤）
商品ボトルにはペットボトル再生原料を99%使用しています。



3. 容器包装のリサイクルやレジ袋の削減で2万7,000トンを超えるCO2を削減しています

容器包装の回収・リサイクルやレジ袋の削減は家庭のごみを減らすだけでなく、CO2の排出も減らすことができます。全国の生協でリサイクルやレジ袋削減に取り組むことにより、2007年度は、社会的に2万7,000トンを超えるCO2を削減しています。

2007年度 容器包装リサイクル及びレジ袋削減によるCO2削減効果

項目	回収量・削減量(t)	CO2削減効果(t-CO2)	
回収・リサイクル	牛乳パック	6,001	1,019
	発泡スチロールトレイ	1,613	5,162
	PETボトル	3,162	2,318
	アルミ缶	679	582
	スチール缶	258	25
	シッパー内袋	1,909	5,666
	レジ袋(想定削減量)	3,223	12,415
合計		27,188	

CO2の削減効果は「『容器包装資材の製造・処理に係るLCI分析調査報告書』2007年3月(株)産業環境研究センター」をもとに、日本生協連で試算しました。
牛乳パックは、バイオマス由来のCO2をカウントしていません。